

新年のごあいさつ

平成21年早春



合志市長
大住 清昭

合志市発展の 基礎づくりに努めます



新年明けましておめでとうございます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年の本市最大の慶事は、合志市出身である内柴正人選手の北京オリンピック柔道66kg級メダル獲得であります。アテネに続く、金メダル2大会連続獲得の偉業は、市の誇りであり、多くの人に夢と感動を与えた出来事になりました。市では早速、「名誉市民」第1号の称号を贈り、ヴィーブルで祝賀会を開催したところです。

市としては、全国に誇れる合志市の創

造に積極的に取り組みたいと考えております。

さて、昨年は、合志市総合計画の初年度であり、基本計画の実施に向けて全職員一丸となって取り組んできました。

行政の事務事業を進める手法として行政評価システムを取り入れ、全事業を評価し、市民の立場から事業の効果や優先順位を論理的・客観的に判断して、事業の選定や予算編成をしてきました。平成20年は市民の皆さまのご協力により、財政の健全化や事務事業を順調に推進できたものと思っております。

平成21年も総合計画に基づき、議会や

市民の皆さまの声を聴きながら市政運営を行ない、着実な成果を挙げていく所存であります。私ごとですが、平成21年度は私の任期最後の年度でもあります。自治基本条例の制定など残されたマニフェストの実現を図り、合志市の発展の基礎づくりを成したいと覚悟を新たにしているところです。市政運営に市民の皆さまのご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、平成21年が皆さまにとりまして幸多い年でありますようご祈念し、新年のごあいさつと致します。

新年明けましておめでとうございます。皆さま方にはご家族おそろいで希望に満ちた新春を迎えられ謹んでお喜び申し上げます。

昨年は、原油価格の高騰から燃油・飼料・農業資材等への影響に始まり、夏にはアメリカに端を発した金融危機などにより世界同時不況が強くにじみ出し、生活への重圧がのしかかる一年でありました。また、国内においては、国会での論議が続いておりますが、政治の混迷が続き、経済対策・景気対策もままならない状況です。そのような中であって、合志市においては、合併後、着実な人口の増加や進出企業の好業績により、比較的安

定した行政運営が進められて来ました。現在、企業増資・進出に向けた受け皿の整備、県道大津西合志線の整備、燃油・飼料等高騰に対する農業緊急支援対策、また、学校教育では西合志中学校の新築落成、子育て支援対策として、乳幼児医療助成事業の拡充の定着化などが成果として挙げられます。

合志市の総合計画（基本構想）「未来輝く産業・定住拠点都市」子育て支援日本一のまちづくり」は、平成27年までの方向性を示したものでありますが、市民の皆さまが安心安全なそして安定的な生活ができることを念頭に行政運営そして財政運営が、着実な歩みとなるよう計画

が組み込まれ、その計画に基づき事業が進められていきます。

議会としても、その計画の推進を支援するとともに実行を見守り、また、開かれた議会運営のもと積極的な情報公開を進めながら、市民の皆さまの負託に応えるよう懸命に努力してまいる所存であります。

経済対策・景気対策が功を奏して平成21年が皆さまにとって、平和で安定した一年となりますようご祈念いたしますとともに、四年目を迎える合志市の市政運営にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



議会議長
佐々木博幸

安心安全で安定的な 生活支援に視点を置いて